



井田 孝 議員



通学路の安全対策見直しを

問 6月に起きた八街市での交通事故後、市内全域の通学路について安全対策の見直しは行っているのか。

答 八街市の交通事故を受け、千葉県教育委員会からの「小学校の通学路の緊急一斉点検の実施通知」に基づき、緊急に合同点検を実施し、185か所の点検を8月10日に終了した。

問 歩道沿いの民家の植木がせり出して通行の妨げになっている箇所が見られるが、市が速やかにできる対応はないのか。

答 土地の所有者を調査して、訪問や電話、郵便などにより伐採や枝払いをお願いしている。また、日頃より広報やホームページにて、個人の所有地から道路、歩道への植木等の枝の張り出しなどがなく適正な管理をお願いしている。市道については市役所建設課、国道については千葉県海匠土木事務所により対応している。

集中豪雨時の冠水対策を

問 洪水や冠水の起こり得る箇所を把握できているか。

答 市内では洪水箇所はないが、集中豪雨時などで一時的な冠水箇所はある。その中でも主だった箇所は、旭地域11か所、海上地域3か所、飯岡地域1か所、干潟地域1か所と把握している。

問 冠水のおそれのある箇所に對して、対策はできているのか。また、冠水対策として工事の実績はあるか。実績があった場合、7月に旭市でも起きたゲリラ豪雨による冠水被害はなかったのか。

答 冠水箇所について、小規模なものはその都度対応を行っている。今後の対策として、冠水対策の基本設計を旭地域、海上地域において行っている。近年の工事実績は2箇所あり、1箇所目は蛇園南地区の流末排水整備で、7月豪雨時は既に完成、接続している一部の場所では冠水が改善している。2箇所目はイ地区の排水整備で、7月豪雨時は最下流部の工事が完了したことで上流域の冠水が解消されつつある。
その他の質問事項
○ゴミの収集について

自宅療養者の情報共有を

問 新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により、入院できずにやむを得ず自宅療養している人がいる。匝瑳市では感染者の療養内訳をホームページで公表しているが、本市は公表しないのか。

答 県内の状況を見ながら検討する。

問 医療体制の整備は県が行っているが、自宅療養者の情報は共有できているのか。

答 65歳以上の自宅療養者については、海匠保健所が本人や家族の同意を得て高齢者福祉課と情報共有し、ケアマネジャーや地域包括支援センター、訪問介護事業所などで健康観察や必要な支援を行っている。64歳以下の自宅療養者の情報共有は今後協議を行っていきたい。

農業用ハウス残渣対策を

問 農業用ハウス残渣の処理については、焼却が禁止され、



片桐 文夫 議員



収穫を終えて残った作物の樹(残渣)

農家は大変頭を悩ませている状況にある。平成31年4月には、ちばみどり農協から市に対して、野焼き禁止の例外として認めてもらえるよう要望書が提出されているが、それに対する回答は。

答 要望書を受けて内部で協議をしたが、市の方針としては野焼き禁止の例外にはあたらないとし、この方針に変更はない。

問 基幹産業を支える農水産課として、残渣の処分についてほかの対策方法はあるか。

答 堆肥場において家畜のふん尿と混ぜ堆肥化し、活用する方法がある。また、細断機による処理では、現地で残渣を細断して、土壌の分解を促進する添加剤を加えて、すき込むという方法もある。引き続き、効率的な処理につながる事例などの情報収集に努める。